

## 水稻の生育状況と今後の管理対策（第2号）

令和5年6月9日  
新潟県農林水産部

### 〔6月8日現在の県内全域の生育状況〕

- ◎ コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈、茎数、葉数の進み、葉色とも「並」の生育状況です。低温や強風などによる生育停滞が少なく、茎数は順調に増えています。
- ◎ コシヒカリの茎数は、県の調査ほ（田植日の平均は5月11日）の平均値では191本/m<sup>2</sup>（目標穂数350本/m<sup>2</sup>の55%）となっており、数日で中干し<sup>\*1</sup>開始の適期に入ると見込まれますが、既に中干し適期に入っているほ場もあります。
- ◎ 新之助では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「薄い」状況です。

\*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かし、稲の生育量を適正に保つ作業のこと

### 〔気象予報と今後の生育見込み〕

- ◎ 6月8日発表の1か月予報によると、向こう1か月（6/10～7/9）の気温は高い見込みです。降水量と日照時間はほぼ平年並と予想されています。
- ◎ 今後も気温が高く、曇りや雨の日が多い見込みであることから、茎数の急増と草丈の伸びが予想されます。

### 〔今後の管理対策のポイント〕

#### コシヒカリ

- ◎ 今後、茎数の増加が加速し、5月中旬以降田植えのほ場においても、中干し開始の適期に入ると考えられることから、ほ場でただちに生育を確認し、遅れずに中干しを開始してください。
- ◎ 高地力など、生育が過剰となりやすいほ場では強めの中干しを行い、茎数の増加を早期に抑えてください。
- ◎ 中干しの効果を高め、フェーン等の異常高温時に速やかなかん水が行えるよう、溝切りを必ず実施してください。
- ◎ 補植苗は、葉いもちの伝染源になるので、ただちに除去してください。

#### 新之助

- ◎ 茎数が増えやすい品種特性があります。茎数をこまめに確認し、目標穂数の7～8割の茎数となったら、遅れずに中干しを開始してください。
- ◎ いもち病に弱いことから、箱施用剤を使用していない場合は、必ず葉いもち防除を行ってください。補植苗は、葉いもちの伝染源になるので、ただちに除去してください。

- ◎ 今後の管理対策発信予定日  
7月11日・21日・26日、9月8日

## 〔補足資料〕

### 1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（6月8日現在）

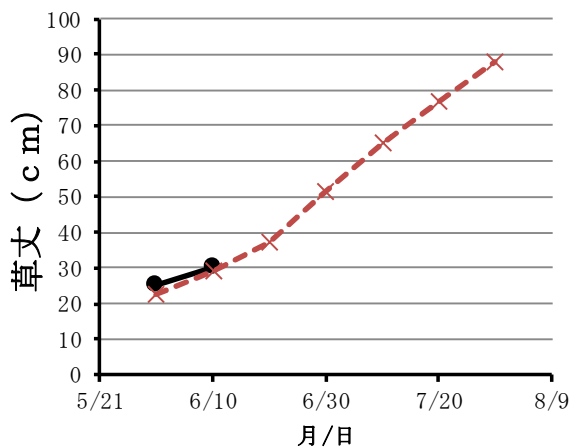
#### コシヒカリ

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈、茎数、葉数の進み及び葉色ともに「並」の状況です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	<b>30 cm</b>	29 cm	並	103%
茎数	<b>191 本/m<sup>2</sup></b>	188 本/m <sup>2</sup> <small>(6月8日推定値) *</small>	並	102%
葉数	<b>6.8 葉</b>	6.9 葉	並	-0.1 葉
葉色 (SPAD 値)	<b>35.6</b>	36.5	並	-0.9

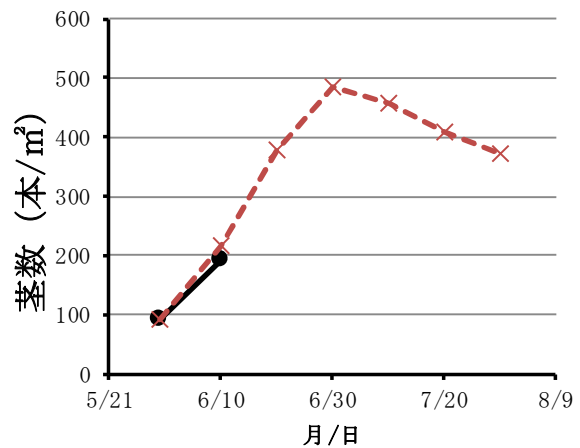
注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月11日、栽植密度16.9株/m<sup>2</sup>）

\* 茎数は中干しを判断する重要な項目のため、6/10指標値を6/8推定値に補正した。



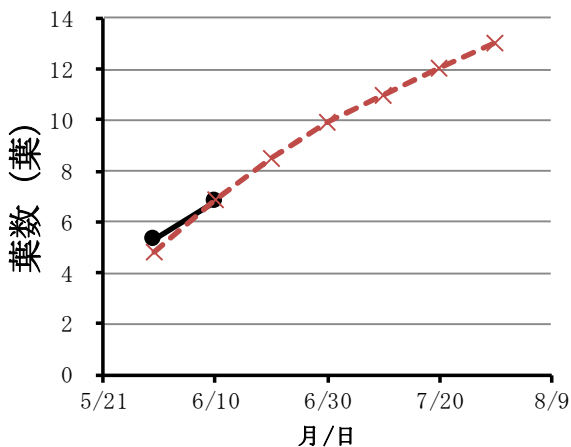
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



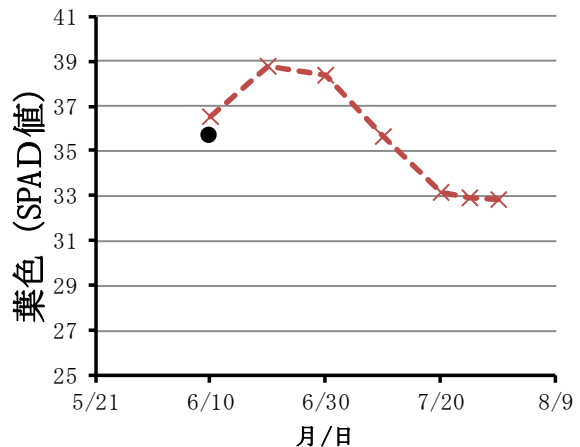
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉色の推移  
(県全体)

○ 葉数の進みはやや遅く、Ⅲ号分けつ以降の発生はやや遅れているが、ほ場でこまめに茎数を確認し、中干しを遅れずに開始してください。

	田植後日数(日)	I号(%)	II号(%)	III号(%)	IV号(%)	V号(%)	葉数(葉)
<b>本年</b>	<b>25</b>	<b>1</b>	<b>31</b>	<b>53</b>	<b>31</b>	<b>4</b>	<b>6.0</b>
平年	26	1	26	75	71	31	6.8

注) 本年は、県内気象感応ほ8か所の調査データの平均値(田植え5月8日、栽植密度16.6株/m<sup>2</sup>)  
 平年は、全県15気象感応ほのH24~R3年(10か年間)の平均値(田植え5月12日、栽植密度17.5株/m<sup>2</sup>)



- ◎中干しの強さは、小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度とする。
- ◎ただし、生育量が指標値に比べ大きいほ場では、強めに中干しを行い、茎数の増加を抑える。

- ◎乾かしすぎて大ヒビが入ると、根が切断されたり、発根が抑制される。
- ◎高温が続き、田面に大きなヒビが入ることが想定される場合には、走り水かん水を行う。

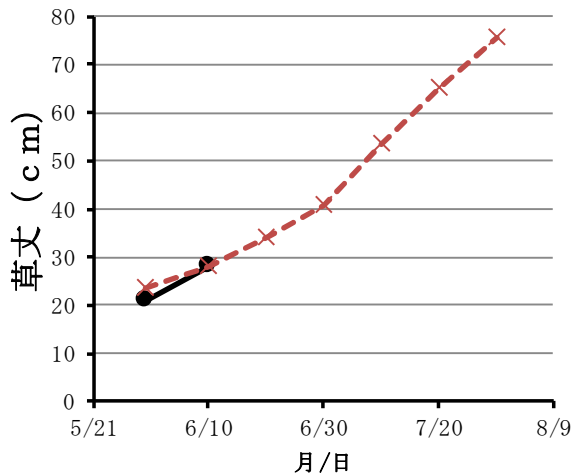
## 新 之 助

○ 指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「薄い」状況です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	28 cm	28 cm	並	100%
茎数	142 本/m <sup>2</sup>	184 本/m <sup>2</sup> (6月8日推定値)*	少ない	77%
葉数	5.8 葉	6.8 葉	遅い	-1.0 葉
葉色 (SPAD 値)	32.0	36.2	薄い	-4.2

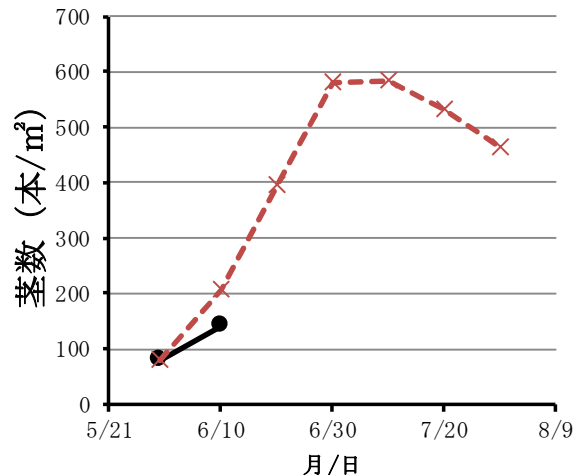
注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値(田植え5月17日、栽植密度16.2株/m<sup>2</sup>)

\* 茎数は中干しを判断する重要な項目のため、6/10指標値を6/8推定値に補正した。



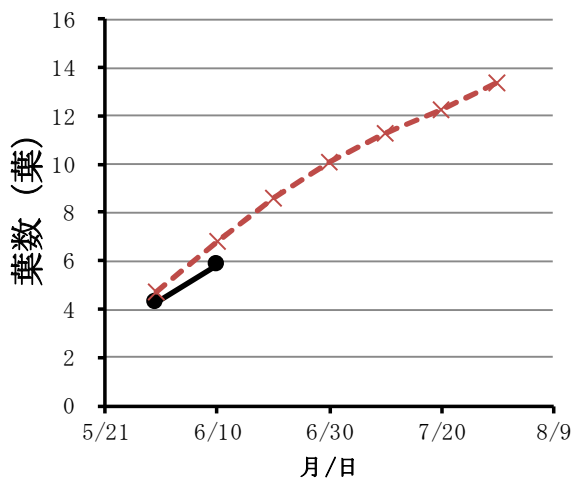
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



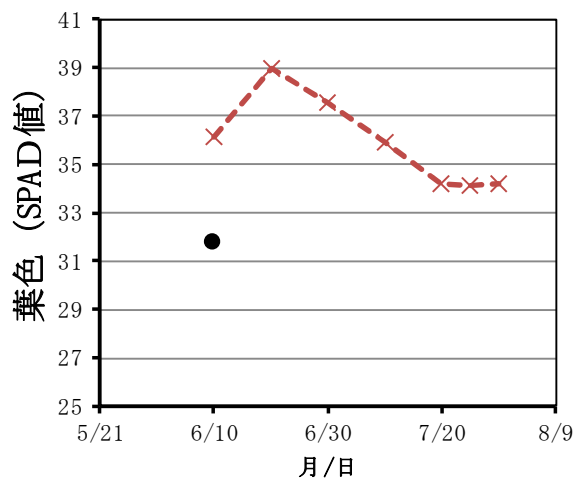
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉色の推移  
(県全体)

## こしいぶき (参考)

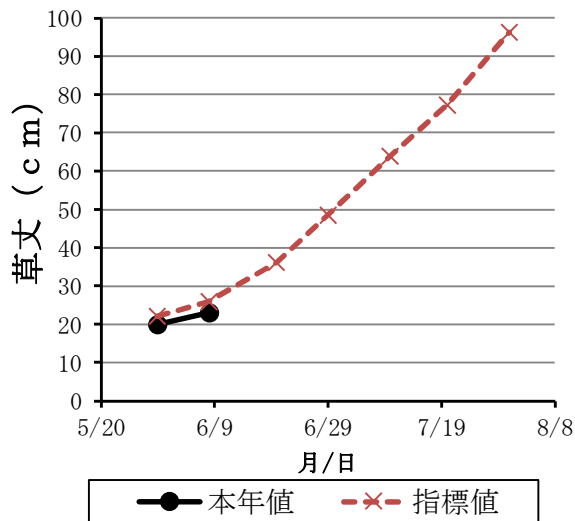
○ 指標値に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや淡い」状況です。

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	23 cm	26 cm	短い	89%
茎数	255 本/m <sup>2</sup>	301 本/m <sup>2</sup>	少ない	85%
葉数	7.0 葉	7.3 葉	並	-0.3 葉
葉色 (SPAD 値)	38.0	39.7	やや淡い	-1.7

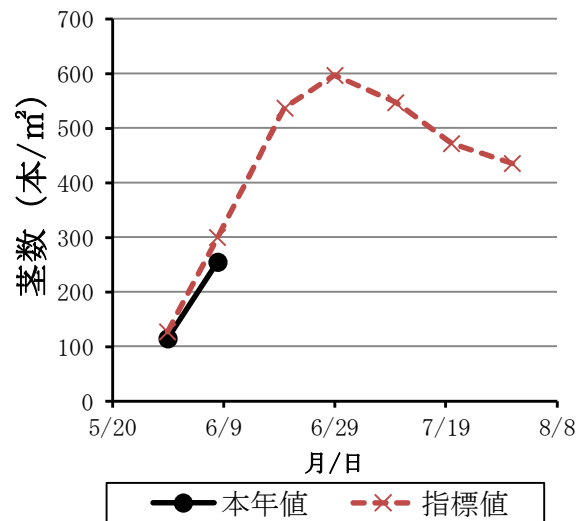
注1) 化学肥料栽培 田植え5月10日、栽植密度21.7株/m<sup>2</sup>

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

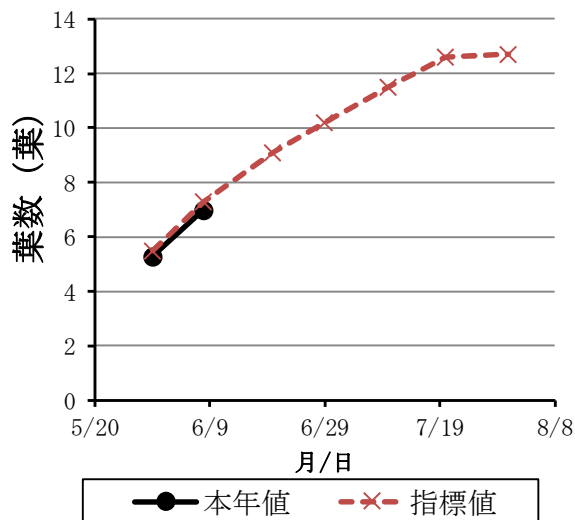
注3) 長岡市長倉町(作物研究センター)の生育調査ほデータ



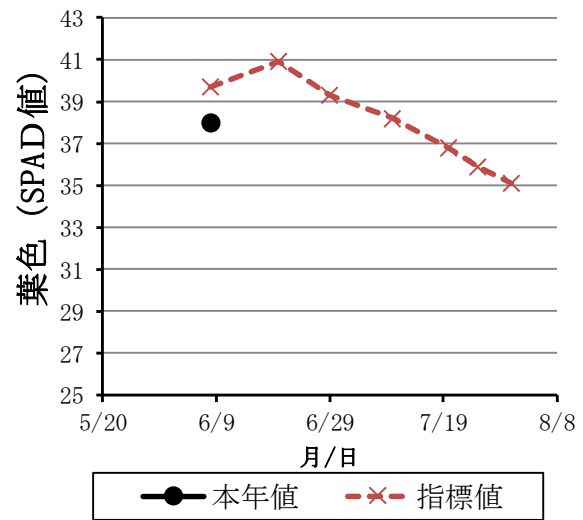
草丈の推移



茎数の推移



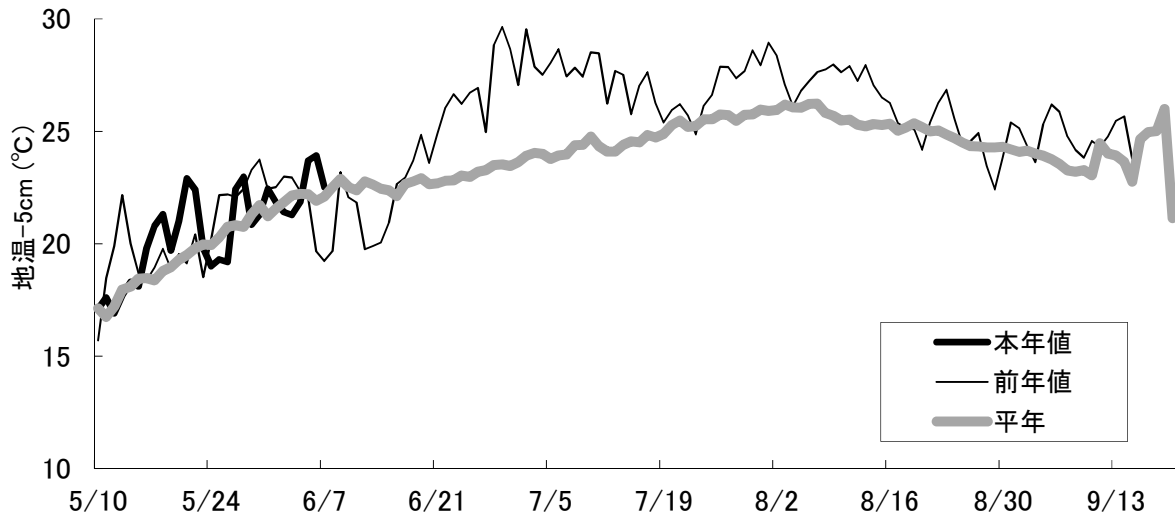
葉数の推移



葉色の推移

## 2 ちりょく 地力窒素の発現状況

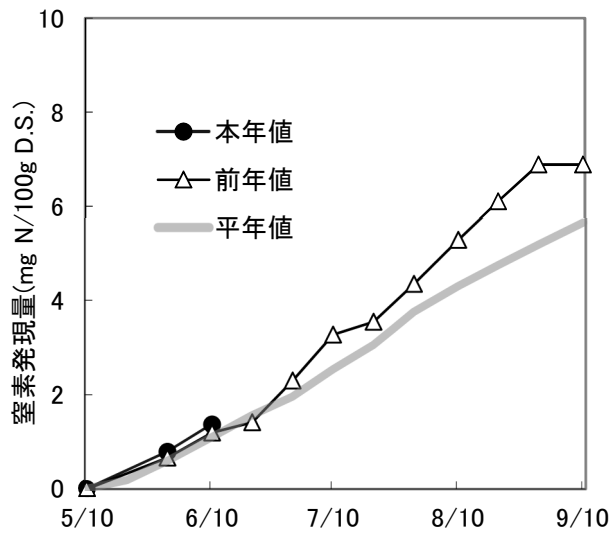
- 5/30～6/6の期間の日平均地温は平年並で推移しました。6/7現在の地力窒素の発現量は平年並でした。条間窒素は平年より少なく推移しました。



水田地温（5 cm深）の推移

（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）

（5月25日以前はセンサ異常のため、参考値として7.5 cm深のデータを記載）

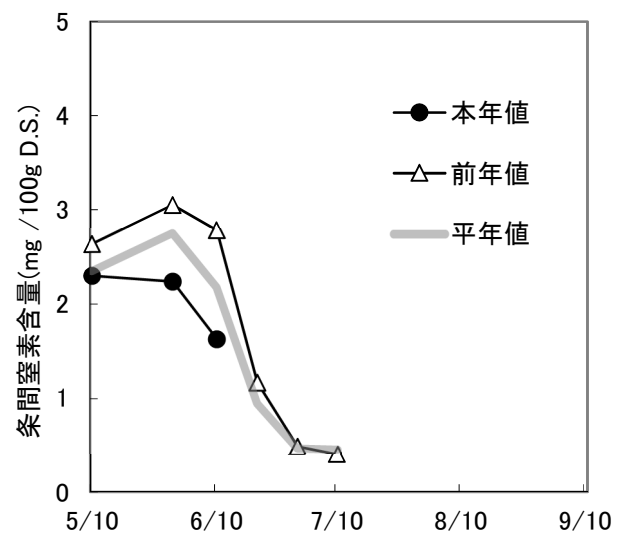


地力窒素発現量の推移(6月7日)

（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）

初期値=0、田植日：5月10日、化学肥料栽培

基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移(6月7日)

（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）

田植日：5月10日、化学肥料栽培

基肥窒素成分量：3.5 kg/10a